令和3年度 事業所向け自殺対策講演会

オンライン講演会　受講料無料

With コロナ時代の
若年従業員・中高年従業員に対するメンタルヘルスケア

コロナ禍の
メンタルヘルス対策
管理者は、どうするべきか



新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、多くの事業所で在宅勤務やテレワークが急速に普及し、管理者が従業員の不調に気付きにくい状況になっています。

そうした中、新卒や中途採用の従業員、コロナ禍の新しい働き方に馴染めない従業員が、メンタルヘルスの不調を抱えている事例が数多くあります。

そこで、管理者によるメンタルヘルス対策の取組に役立てていただくため、従業員の年齢層に即したメンタルヘルスケアのあり方と自殺防止対策をテーマに、オンライン講演会を開催します。

受講された事業所は、希望に応じて、メンタルヘルスの専門職からフォローアップを受けることができます。ぜひご参加ください。

対象者　都内に所在する事業所の管理職、人事労務担当者、健康管理者の方等

定員　各回200名（応募者多数の場合は抽選となる場合があります。）

東京都福祉保健局

第1回　講演

若年従業員に対するメンタルヘルスケア

・若年従業員の傾向（働くことへの捉え方）
・若年者に見られる精神疾患の特徴
・上司や同僚への相談の仕方
・上司から部下への相談の仕方　等

日時　令和4年 **1月7日（金）** 14時～16時

第2回　講演

中高年従業員に対するメンタルヘルスケア

・中高年従業員の傾向（働くことへの捉え方）
・自分より年下の上司とのかかわり方
・自分より年上の部下とのかかわり方
・テレワークへの不安への対処法　等

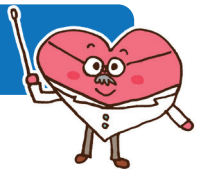
日時　令和4年 **1月21日（金）** 14時～16時

講　師　**石見　忠士**（いわみ･ただし）氏　（こころの耳運営事務局　事務局長）



横浜国立大学経営学部を卒業し、2008年よりメンタルヘルス対策支援センター(現「東京産業保健総合支援センター」)のメンタルヘルス対策促進員として活動。300社以上を支援し、メンタルヘルス研修などを行う。
2011年より、厚生労働省委託事業「こころの耳」サイト事業の運営責任者として、自ら全国の先進･良好事例等の取材を行い、働く人･家族･組織に役立つメンタルヘルスに関するさまざまな情報を提供している。
主な著書:「日本で一番やさしい職場のストレスチェック制度の参考書」(労働調査会)など

受講後、メンタルヘルス専門家による個別相談を行います 〉 無 料



講演会を受講した事業所には、ご希望に応じて、精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士、産業カウンセラー等、職場のメンタルヘルスや自殺対策を専門とするアドバイザーが、メンタルヘルス･自殺防止対策を取り組む上でのサポートを行います。後日にオンラインや訪問での相談が可能です。ご希望の場合は、講演会当日のアンケートにその旨をご記入ください。

※希望事業所数が定数を超える場合は、お断りする場合があります。

※フォローアップの内容は、事業所が特定されないように編集の上、東京都福祉保健局ホームページに掲載します。あらかじめご了承ください。

■過去のご相談例

･専門知識がない者が相談対応に当たるには
･うつ病やアルコール問題者への具体的対応
･欠勤･遅刻を繰り返す社員への具体的対応
･ハラスメントに対する職場意識を高めたい　等

■過去の講演内容･事例集等の資材はこちらから ▶
東京都福祉保健局HP
「職場における自殺対策の推進」

申込方法

申込締切　第1回　令和3年 **12月22日(水)**　第2回　令和4年 **1月11日(火)**

●オンライン会議ツール『ZOOM』で開催します。下記のURLからお申し込みください。

申込サイト　**https://j-report.jp/kouen/**
または「**東京都福祉保健局　事業所向け自殺対策講演会**」で検索

※申し込み後、事務局よりメールが届きます。届かない場合は、運営事務局までご連絡ください。

お問い合わせ
(東京都受託事業社･運営事務局)
株式会社Jリポート
メール：kouen@j-report.jp

●**こころのストレス度セルフチェックサイト**　～従業員の健康状態の把握にお役立てください。
＜内閣官房ホームページ＞　https://corona.go.jp/selfcheck/　▶「支援情報ナビ　内閣官房」で検索

●**こころの耳**　～職場のメンタルヘルス対策や、従業員のセルフケア等にまつわるさまざまな情報を提供しています。
＜厚生労働省ホームページ＞ https://kokoro.mhlw.go.jp/　▶「こころの耳」で検索

●**ゲートキーパーについて**　～身近な人の自殺につながるような悩みに気づき、適切な対応を図ることのできる▶
＜東京都ホームページ＞　ゲートキーパーの啓発に取り組んでいます。